2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　ソニーフィナンシャルグループ株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　8729　　URL　https://www.sonyfg.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表執行役　　（氏名）　遠藤　俊英
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員　　（氏名）　佐井　拓実　　（TEL）03-5290-6500（代表）

半期報告書提出予定日　　2026年11月20日　　配当支払開始予定日　　2026年12月14日
特定取引勘定設置の有無　　無
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	545,256	10.2	32,534	22.8	41,694	64.1	28,633	65.8	△39,149	―
2026年３月期中間期	494,856	8.3	26,498	△72.6	25,403	△73.5	17,271	△74.8	48,434	△46.4

	修正純利益*		基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	百万円	%	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	62,475	32.6	4.27	4.27
2026年３月期中間期	47,106	△2.4	2.42	2.42

（注）　当社は2025年８月８日付で普通株式435,100,266株につき7,149,358,214株の割合で株式分割を行いました。上記の基本的１株当たり中間純利益及び希薄化後１株当たり中間純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	21,618,231	843,300	843,273	3.9
2026年３月期	20,775,505	907,675	907,651	4.4

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	―	―	3.80	3.80
2027年３月期	―	4.00			
2027年３月期（予想）			―	4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		修正純利益*	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	1,090,000	7.1	20,000	―	28,000	―	17,000	―	110,000	2.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

＊ 修正純利益は一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、当社グループ全体の投資とそのリターンの循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認することができると考えております。修正純利益の数値は、国際財務報告基準（以下「IFRS会計基準」）に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。なお、修正純利益の算定式及び調整表については、本決算短信と同日に当社ウェブサイトで開示した「2026年度第２四半期　業績説明会資料」（決算説明会資料）をご参照ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	6,770,358,214株	2026年３月期	6,770,358,214株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	61,866,719株	2026年３月期	61,911,026株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,708,461,492株	2026年３月期中間期	7,149,358,214株

（注）１．当社は2025年８月８日付で普通株式435,100,266株につき7,149,358,214株の割合で株式分割を行いました。上記の発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

２．期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与ESOP信託が保有する当社株式を含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、資本市場における国際的な財務情報の比較可能性の向上及び当社グループが重視する長期視点での経営に適した経営指標を示す観点から、従来の日本基準に替えて、2027年３月期第１四半期よりIFRS会計基準を任意適用しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績の概況 …… 2
（２）財政状態の概況 …… 2
２．要約中間連結財務諸表 …… 3
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 3
（２）要約中間連結損益計算書 …… 4
（３）要約中間連結包括利益計算書 …… 5
（４）要約中間連結持分変動計算書 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（会計処理の基礎） …… 8
（経営者が定義した業績指標） …… 9
（事業セグメント） …… 11
（金融商品－分類及び公正価値） …… 12
（保険収益） …… 20
（保険業における金融損益） …… 21
（保険契約及び再保険契約） …… 22

１．経営成績等の概況

（１）経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの業績は次のとおりとなりました。

税引前利益は、生命保険事業で減益となったものの、損害保険事業及び銀行事業で増益となった結果、416億円(前年同期比64.1%増)となりました。親会社の所有者に帰属する中間純利益は、286億円(同65.8%増)となりました。

事業別の税引前利益は、次のとおりです。

		前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)	前年同期比	
税引前利益		254億円	416億円	+162億円	+64.1%
	生命保険事業	114億円	98億円	△15億円	△13.8%
	損害保険事業	62億円	84億円	+21億円	+34.8%
	銀行事業	88億円	238億円	+149億円	+170.0%

生命保険事業: ALM(資産負債の総合管理)の考え方に基づくリバランスを目的とした債券売却に伴う一般勘定における有価証券売却損の減少があったものの、変額保険の最低保証等に係る市況変動による損益の悪化により、税引前利益は98億円(前年同期比13.8%減)となりました。

損害保険事業: 支払保険金単価の上昇等による発生保険金の増加があったものの、事業費効率の向上に加え、増収効果により、税引前利益は84億円(同34.8%増)となりました。

銀 行 事 業 : 営業経費の増加があったものの、持分法投資の譲渡益の計上により、税引前利益は238億円(同170.0%増)となりました。

（２）財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は、21兆6,182億円(前年度末比4.1%増)となりました。主な勘定残高は、有価証券が15兆6,778億円(同3.3%増)、貸出金が３兆6,914億円(同0.1%減)であります。

負債合計は、20兆7,749億円(同4.6%増)となりました。主な勘定残高は、保険契約負債が13兆2,305億円(同3.8%増)、銀行業における預金が４兆7,473億円(同3.2%増)であります。

資本合計は、8,433億円(同7.1%減)となりました。

２．要約中間連結財務諸表

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
現金及び現金同等物	483,463	565,790
デリバティブ資産	231,032	338,299
その他の金融資産	524,361	459,309
有価証券	15,184,147	15,677,834
保険契約資産	45,128	40,895
再保険契約資産	274,892	471,411
貸出金	3,695,766	3,691,436
持分法で会計処理されている投資	3,242	409
有形固定資産	14,067	14,456
投資不動産	73,977	73,335
使用権資産	74,739	78,642
無形資産	81,528	82,170
のれん	10,834	10,834
繰延税金資産	64,016	87,545
その他の資産	14,307	25,861
資産合計	20,775,505	21,618,231
負債		
銀行業における預金	4,600,113	4,747,355
コールマネー	175,094	171,505
売現先勘定	395,306	334,699
債券貸借取引受入担保金	654,797	845,971
デリバティブ負債	50,231	66,163
その他の金融負債	160,342	180,542
未払法人所得税	12,399	12,559
保険契約負債	12,749,724	13,230,559
再保険契約負債	126	97
投資契約負債	58,847	59,264
社債及び借入金	837,295	949,753
リース負債	86,192	90,058
退職給付に係る負債	37,047	36,970
繰延税金負債	2,524	2,598
その他の負債	47,785	46,832
負債合計	19,867,829	20,774,931
資本		
資本金	20,029	20,029
資本剰余金	136,732	137,109
利益剰余金	2,261,857	2,261,196
自己株式	△9,822	△9,815
累積その他の包括利益	△1,501,145	△1,565,245
親会社の所有者に帰属する持分合計	907,651	843,273
非支配持分	24	26
資本合計	907,675	843,300
負債及び資本合計	20,775,505	21,618,231

（２）要約中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
保険収益	330,368	360,542
保険サービス費用	△238,366	△269,615
再保険損益	△1,529	5,795
保険サービス損益	90,472	96,722
受取手数料	3,081	3,572
支払手数料	△5,387	△6,209
純手数料収益	△2,306	△2,636
受取利息	143,148	162,000
支払利息	△39,368	△42,262
純利息収益	103,780	119,738
投資損益	186,185	540,884
信用減損損失	14	△28
保険金融収益又は費用（純額）	△314,348	△679,413
再保険金融収益又は費用（純額）	69	2,324
保険金融損益	△314,278	△677,089
金融損益	△24,297	△16,495
販売費及び一般管理費	△53,946	△62,430
その他の営業収益	18,475	19,141
その他の営業費用	△1,899	△1,766
営業利益	26,498	32,534
持分法投資損益	29	10,644
財務及び税引前中間利益	26,527	43,178
財務費用	△1,124	△1,484
税引前中間利益	25,403	41,694
法人所得税費用	△8,131	△13,058
中間純利益	17,271	28,635
中間純利益の帰属		
親会社の所有者	17,271	28,633
非支配持分	―	2
１株当たり中間純利益		
基本的１株当たり中間純利益	2円42銭	4円27銭
希薄化後１株当たり中間純利益	2円42銭	4円27銭

（３）要約中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	17,271	28,635
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△106	△157
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の変動	961	△540
合計	855	△697
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融商品の変動	△293,621	△309,503
キャッシュ・フロー・ヘッジ	－	△236
保険金融収益又は費用（純額）	324,176	277,887
再保険金融収益又は費用（純額）	△248	△35,234
合計	30,306	△67,087
その他の包括利益	31,162	△67,785
中間包括利益合計	48,434	△39,149
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	48,434	△39,151
非支配持分	－	2

（４）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	累積その他の包括利益		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の変動	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融商品の変動
期首残高	20,029	196,394	2,270,354	－	－	△4,946	△1,346,457
変動額							
中間純利益	－	－	17,271	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	△106	961	△293,621
中間包括利益合計	－	－	17,271	－	△106	961	△293,621
利益剰余金への振替	－	－	△106	－	106	－	－
株式報酬	－	195	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－
変動額合計	－	195	17,165	－	－	961	△293,621
期末残高	20,029	196,590	2,287,519	－	－	△3,984	△1,640,079

	累積その他の包括利益				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	保険金融収益又は費用（純額）	再保険金融収益又は費用（純額）	累積その他の包括利益合計			
期首残高	－	△60,877	△766	△1,413,047	1,073,730	－	1,073,730
変動額							
中間純利益	－	－	－	－	17,271	－	17,271
その他の包括利益	－	324,176	△248	31,162	31,162	－	31,162
中間包括利益合計	－	324,176	△248	31,162	48,434	－	48,434
利益剰余金への振替	－	－	－	106	－	－	－
株式報酬	－	－	－	－	195	－	195
その他	－	－	－	－	－	－	－
変動額合計	－	324,176	△248	31,268	48,629	－	48,629
期末残高	－	263,298	△1,014	△1,381,779	1,122,359	－	1,122,359

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	累積その他の包括利益		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の変動	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融商品の変動
期首残高	20,029	136,732	2,261,857	△9,822	－	△2,688	△2,037,121
変動額							
中間純利益	－	－	28,633	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	△157	△540	△309,503
中間包括利益合計	－	－	28,633	－	△157	△540	△309,503
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	－	－
自己株式の処分	－	△0	－	7	－	－	－
利益剰余金への振替	－	－	△3,685	－	157	3,528	－
配当金	－	－	△25,609	－	－	－	－
株式報酬	－	377	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－
変動額合計	－	376	△661	7	－	2,987	△309,503
期末残高	20,029	137,109	2,261,196	△9,815	－	299	△2,346,625

	累積その他の包括利益				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	保険金融収益又は費用（純額）	再保険金融収益又は費用（純額）	累積その他の包括利益合計			
期首残高	－	544,695	△6,031	△1,501,145	907,651	24	907,675
変動額							
中間純利益	－	－	－	－	28,633	2	28,635
その他の包括利益	△236	277,887	△35,234	△67,785	△67,785	－	△67,785
中間包括利益合計	△236	277,887	△35,234	△67,785	△39,151	2	△39,149
自己株式の取得	－	－	－	－	△0	－	△0
自己株式の処分	－	－	－	－	6	－	6
利益剰余金への振替	－	－	－	3,685	－	－	－
配当金	－	－	－	－	△25,609	－	△25,609
株式報酬	－	－	－	－	377	－	377
その他	－	－	－	－	－	－	－
変動額合計	△236	277,887	△35,234	△64,099	△64,377	2	△64,375
期末残高	△236	822,582	△41,265	△1,565,245	843,273	26	843,300

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計処理の基礎）

(1) 財務報告の枠組み

当社グループのIFRS会計基準への移行日は2024年４月１日であり、IFRS第１号「国際財務報告基準の初度適用」で規定する初度適用には該当しませんので、同基準書でIFRS会計基準の初度適用時に要求されている、日本基準からIFRS会計基準への調整表は作成しておりません。

(2) 新基準の早期適用に関する事項

当社グループは、IFRS第18号「財務諸表における表示及び開示」(2024年４月公表)を早期適用しております。

（経営者が定義した業績指標）

(1) 経営者が定義した業績指標の概要

当社グループでは、経営者が定義した業績指標である「修正純利益」を経営指標として採用しており、事業説明会、その他投資家向けプレゼンテーションの中で使用しております。

「修正純利益」は、当社グループの恒常的な収益力、業績を経営管理し、また経営者の見解を投資家に提供するため、IFRS会計基準で定義される当期純利益に、市況変動や一時的な要因による損益を調整して算定しております。「修正純利益」は、当社グループの基礎的な期間利益の状況を表すとともに、ベースとなる利益成長の測定に適していると経営者として判断しており、経営指標として採用しております。このため、当該「修正純利益」の開示が財務諸表利用者に有用な情報を提供すると考えております。

具体的には、「修正純利益」を算定するにあたって、IFRS会計基準で定義される当期純利益に対して以下の収益又は費用項目を調整しております。

(ⅰ)生命保険子会社にて計上した以下の損益

- 投資損益に計上された変額保険関連損益(変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの)
- 投資損益に計上されたヘッジコスト相当分(ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト)を除く為替差損益(純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した債券から生じる当期の経過利息(期首金利に基づく)を含む)
- 投資損益に計上されたヘッジコスト相当分(ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト)を除くALMに係るヘッジ取引の評価差損益
- 保険金融損益のうち変額保険関連損益(変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響)
- 保険金融損益のうち為替差損益
- 投資損益に計上された有価証券売却損益

当社グループの経営者は、最終的に保険契約者に帰属することとなる変額保険関連損益の他、保険事業における市場リスクの調整及び相場変動に伴い一時的に発生する有価証券の売却損益、金利や為替等のリスクに対するヘッジ取引から生じる損益は、当社グループの恒常的な収益力、業績を反映しないものと考えております。

なお、生命保険子会社では金利スワップ、通貨スワップ及び債券先物取引等を用いて、資産負債の総合管理(ALM)の観点から保有している負債性金融商品の金利や為替等のリスクをヘッジする方針としておりますが、当該ヘッジ取引の拡大に伴い、ヘッジ取引から生じる会計上のミスマッチによる評価差損益がIFRS会計基準で定義される当期純利益に与える金額的重要性が増大することが見込まれるため、当中間連結会計期間より、「修正純利益」を算定する際の調整項目に、生命保険子会社の投資損益に計上されたヘッジコスト相当分を除くALMに係るヘッジ取引の評価差損益を追加しております。

(ⅱ)グループ各社において計上された一過性の損益

複数の連結会計年度にわたって発生することが想定されず、当社グループの中長期的な事業計画に直接的に関連しない一時的な要因により発生した一過性の損益は、当社グループの恒常的な収益力、業績を反映せず、また、財務諸表利用者が将来業績を想定するにあたっての予測価値も限定的であると考えております。

なお、当該「修正純利益」は、IFRS会計基準において定義されている収益及び費用の小計には該当せず、当社グループ独自の経営指標であるため、他の企業が使用、開示している類似の経営指標とは比較可能ではない可能性があります。

(2) 経営者が定義した業績指標への調整表

IFRS会計基準で定義される中間純利益から中間修正純利益への調整は、以下のとおりであります。

	要約中間連結損益計算書における科目	前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
		金額(百万円)			
		税引前	法人所得税（＊）	税引後	非支配持分
中間純利益		25,403	△8,131	17,271	－
(ⅰ)生命保険子会社における調整項目					
変額保険関連損益及び為替差損益	投資損益	△286,067	83,674	△202,392	－
ALMに係るヘッジ取引の評価差損益	投資損益	1,657	△484	1,172	－
有価証券売却損益	投資損益	102,139	△29,875	72,263	－
変額保険関連損益及び為替差損益	保険金融損益	224,440	△65,648	158,791	－
(ⅱ)グループ各社における一過性の損益		－	－	－	－
調整項目合計		42,169	△12,334	29,834	－
中間修正純利益		67,572	△20,465	47,106	－

（＊） 調整項目にかかる法人所得税の算定にあたっては、当該調整対象の損益が計上された各グループ会社で適用される見積税率に基づき算定しております。

	要約中間連結損益計算書における科目	当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
		金額(百万円)			
		税引前	法人所得税（＊）	税引後	非支配持分
中間純利益		41,694	△13,058	28,635	2
(ⅰ)生命保険子会社における調整項目					
変額保険関連損益及び為替差損益	投資損益	△589,950	182,176	△407,773	－
ALMに係るヘッジ取引の評価差損益	投資損益	2,058	△635	1,422	－
有価証券売却損益	投資損益	55,149	△17,030	38,119	－
変額保険関連損益及び為替差損益	保険金融損益	593,576	△183,296	410,279	－
(ⅱ)グループ各社における一過性の損益					
銀行子会社における持分法投資の譲渡益	持分法投資損益	△11,725	3,518	△8,206	－
調整項目合計		49,108	△15,266	33,842	－
中間修正純利益		90,803	△28,325	62,477	2

（＊） 調整項目にかかる法人所得税の算定にあたっては、当該調整対象の損益が計上された各グループ会社で適用される見積税率に基づき算定しております。

（事業セグメント）

(1) 報告セグメント毎の収益及び利益の金額に関する情報

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）						
	金額(百万円)						
	報告セグメント				その他 （＊１）	調整額	要約中間連結財務諸表計上額
	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	合計			
セグメント収益 （＊２）							
外部顧客からの収益	342,938	88,450	54,939	486,328	8,528	―	494,856
セグメント間の内部収益	1,574	17	22	1,614	―	△1,614	―
セグメント収益合計	344,513	88,467	54,961	487,942	8,528	△1,614	494,856
セグメント利益	11,407	6,289	8,820	26,516	215	△1,328	25,403

（＊１）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

（＊２）　セグメント収益は、保険収益、受取手数料、受取利息及びその他の営業収益の一部から構成されております。

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）						
	金額(百万円)						
	報告セグメント				その他 （＊１）	調整額	要約中間連結財務諸表計上額
	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	合計			
セグメント収益 （＊２）							
外部顧客からの収益	365,925	100,463	69,871	536,261	8,994	―	545,256
セグメント間の内部収益	1,762	0	30	1,794	4	△1,798	―
セグメント収益合計	367,688	100,464	69,902	538,055	8,999	△1,798	545,256
セグメント利益	9,835	8,480	23,811	42,127	1,418	△1,851	41,694

（＊１）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

（＊２）　セグメント収益は、保険収益、受取手数料、受取利息及びその他の営業収益の一部から構成されております。

(2) 報告セグメントの利益の金額の合計額と要約中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
	金額(百万円)	金額(百万円)
報告セグメント計	26,516	42,127
その他の区分の損益	215	1,418
セグメント間取引の調整額	32	23
事業セグメントに配分していない損益(＊)	△1,361	△1,875
要約中間連結損益計算書の税引前中間利益	25,403	41,694

（＊）　主として持株会社である当社に係る損益であります。

（金融商品－分類及び公正価値）

金融資産及び金融負債の帳簿価額は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度(2026年３月31日)				
	金額(百万円)				
	純損益を通じて公正価値で測定することが要求される金融商品	純損益を通じて公正価値で測定するものと指定した金融商品	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	償却原価で測定する金融商品	帳簿価額合計
有価証券					
負債性証券					
日本国債	370,325	578,025	5,254,944	－	6,203,295
日本地方債	3,749	－	167,029	29,711	200,491
日本社債	43,958	－	748,680	52,485	845,124
外国国債	215,865	50,378	1,401,972	－	1,668,215
外国社債	42,096	56,879	492,863	－	591,839
証券化商品	－	－	223,853	479,841	703,694
その他の証券	993,535	－	－	26,508	1,020,044
資本性証券					
日本株式	571,991	－	2,300	－	574,292
外国株式	3,368,736	－	8,412	－	3,377,149
貸出金					
住宅ローン	－	－	－	3,650,595	3,650,595
その他	－	－	－	45,170	45,170
デリバティブ資産	231,032	－	－	－	231,032
金融資産合計	5,841,291	685,283	8,300,057	4,284,313	19,110,946
債券貸借取引受入担保金	－	－	－	654,797	654,797
銀行業における預金	－	－	－	4,600,113	4,600,113
デリバティブ負債	50,231	－	－	－	50,231
投資契約負債	－	－	－	58,847	58,847
社債	－	－	－	179,748	179,748
借入金	－	－	－	657,547	657,547
金融負債合計	50,231	－	－	6,151,053	6,201,284

	当中間連結会計期間(2026年９月30日)				
	金額(百万円)				
	純損益を通じて公正価値で測定することが要求される金融商品	純損益を通じて公正価値で測定するものと指定した金融商品	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	償却原価で測定する金融商品	帳簿価額合計
有価証券					
負債性証券					
日本国債	363,023	468,273	5,039,074	891	5,871,262
日本地方債	3,694	―	222,031	52,632	278,357
日本社債	42,257	―	727,137	51,318	820,714
外国国債	193,763	31,937	1,269,471	―	1,495,171
外国社債	62,645	37,374	508,479	―	608,498
証券化商品	5,457	―	236,609	476,110	718,176
その他の証券	1,386,475	―	―	25,906	1,412,382
資本性証券					
日本株式	774,158	―	1,815	―	775,973
外国株式	3,691,543	―	5,752	―	3,697,296
貸出金					
住宅ローン	―	―	―	3,631,082	3,631,082
その他	―	―	―	60,353	60,353
デリバティブ資産	338,299	―	―	―	338,299
金融資産合計	6,861,317	537,585	8,010,372	4,298,295	19,707,570
債券貸借取引受入担保金	―	―	―	845,971	845,971
銀行業における預金	―	―	―	4,747,355	4,747,355
デリバティブ負債	66,163	―	―	―	66,163
投資契約負債	―	―	―	59,264	59,264
社債	―	―	―	288,570	288,570
借入金	―	―	―	661,182	661,182
金融負債合計	66,163	―	―	6,602,343	6,668,506

(1) 公正価値測定フレームワーク

当社グループは、測定日に市場参加者間で行われる通常の取引において、資産の譲渡の対価として受け取ると想定される金額又は負債を移転する際に支払うと想定される金額である出口価格に基づき公正価値を測定しております。

当社グループは、市場における観察可能性の程度に基づき、評価に使用するインプットの階層を決定しております。観察可能なインプットは、独立した情報源から入手した市場データを反映したものでありますが、観察可能でないインプットは、市場参加者が資産あるいは負債を評価する際に通常使用するであろう情報を用いて当社グループが独自に推定しているものであります。過度なコストや労力をかけない範囲で観察可能な市場データが利用可能である場合には、観察可能な市場データが利用されております。全ての公正価値は下記３段階のレベルのいずれかで報告しておりますが、報告されるレベルは公正価値の測定に重大な影響を及ぼすインプットのレベルのうち最も低いレベルに基づき決定しております。

公正価値の３段階のレベルは以下のとおりであります。

レベル１：重大なインプットが活発な市場における同一の資産・負債の未調整の取引価格

レベル２：重大なインプットがレベル１以外の観察可能なデータ
例えば、活発な市場における類似商品の取引価格、活発でない市場における同一又は類似商品の取引価格、全ての重大なインプットが活発な市場で観察可能な場合のモデル計算による評価が含まれております。

レベル３：１つあるいは複数の重大なインプットが観察可能でない

(2) 公正価値測定プロセスの説明

当社グループはリスク管理部門にて公正価値の測定に関する方針及び手続を定めており、これに沿って公正価値を測定しております。測定された公正価値は、独立した評価部門にて、公正価値測定に用いられた評価技法及びインプットの妥当性並びに公正価値のレベルの分類の適切性を検証しております。検証結果は毎期リスク管理部門に報告され、公正価値の測定方針及び手続に関する適正性が確保されております。

公正価値の測定にあたっては、個々の資産の性質、特性及びリスクを最も適切に反映できる評価モデルを用いております。また、第三者から入手した相場価格を利用する場合においても、利用されている評価技法及びインプットの確認や類似の金融商品の公正価値との比較等の適切な方法により価格の妥当性を検証しております。

(3) 公正価値測定に用いた評価技法及びインプット

当社グループが各金融商品の公正価値測定に利用している評価技法、それが通常どの公正価値のレベルに分類されているかは、以下のとおりであります。

(ⅰ)負債性証券、資本性証券

活発な市場における取引価格が利用可能である金融商品の公正価値の階層はレベル１に分類しております。レベル１の金融商品には上場されている資本性証券が含まれております。取引価格を利用できないもしくは市場が活発でない金融商品については、価格モデル、類似の特徴をもつ金融商品の取引価格あるいは割引キャッシュ・フローモデルを使用して見積り、主にレベル２に分類しております。レベル２の金融商品には公社債の大部分など、上場されている金融商品ほどには活発に取引されていない取引価格により評価された負債性証券が含まれております。取引量が少ないもしくは評価に使用するインプットの観察可能性が低い金融商品についてはレベル３に分類しております。レベル３の金融商品には、主にレベル１・レベル２に分類されなかった投資信託及びファンド投資、証券化商品及び市場における取引価格が利用できずインプットの観察可能性が低い国内外の社債が含まれております。当社グループは、投資信託及びファンド投資の公正価値を測定するにあたり、主に純資産価値を使用しております。当社グループは、証券化商品及び市場における取引価格が利用できずインプットの観察可能性が低い国内外の社債の公正価値を測定するにあたり、主に証券業者から得た指標価格等の第三者の価格に調整を加えることなく使用、あるいは割引キャッシュ・フローモデルを使用して見積っております。当社グループは、レベル３の金融商品の公正価値の検証のため、主として市場参加者が公正価値の測定に使用すると想定される仮定についてのマネジメントの判断や見積りを含む内部の価格モデルを使用しております。

(ⅱ)貸出金

期間に基づく区分毎に、将来キャッシュ・フローを見積り、評価日時点の市場利子率に一定の調整を加えた金利で割り引いた現在価値を公正価値としており、レベル３に分類しております。

(ⅲ)デリバティブ

上場されているデリバティブで、その取引価格を使用して公正価値を評価されているデリバティブの公正価値の階層はレベル１に分類しております。しかしながら上場されているデリバティブ契約は少数であり、当社グループが保有するデリバティブ契約の多くは、容易に観察可能な市場パラメータを基礎として利用した当社グループの内部モデルによる評価を行っております。利用しているパラメータには、活発に価格が形成されているものや、価格情報提供者のような外部業者から入手したものが含まれております。

当社グループは、金利スワップ及び通貨スワップの公正価値を決定するにあたり、市場において観察可能で、該当する金融商品の期間に対応する金利のイールド・カーブを使用した将来見積キャッシュ・フローの現在価値を使用しております。当社グループは、外国為替のデリバティブについて、直物相場及び時間価値等、市場で観察可能なインプットを利用した先物為替予約の評価モデルを使用しております。これらのデリバティブは、そのデリバティブ資産・負債の公正価値の測定に際して、主に観察可能なインプットを使用しているため、レベル２に分類されております。

また、デリバティブの種類や契約条項に応じて、ブラック・ショールズ・モデル等の評価技法により公正価値を測定するとともに、その技法を継続的に適用しております。当社グループは、開発後一定期間を経過しているようなデリバティブ商品について、金融業界において広く受け入れられている評価モデルを使用しております。これらのモデルは、満期までの期間を含むデリバティブ契約の条項や、金利、ボラティリティ、取引相手の信用格付け等の市場で観察されるパラメータを使用しております。更に、これらのモデルの多くは、その評価方法に重要な判断を必要としないものであり、モデルで使用しているインプット自体も活発な価格付けが行われる市場で容易に観察可能なものであるため、主観性の高いものではありません。これらの技法で評価されている金融商品は、通常、レベル２に分類されております。

(ⅳ)投資契約負債

投資契約における将来キャッシュ・フローを見積り、評価日時点の市場利子率に一定の調整を加えた金利で割り引いた現在価値を公正価値としており、レベル２に分類しております。

(ⅴ)債券貸借取引受入担保金

将来キャッシュ・フローを残存期間に応じた利率で割り引いた現在価値を公正価値としております。なお、債券貸借取引受入担保金のうち、残存期間が短期間であるものは、公正価値が帳簿価額と近似しているものと想定されるため、帳簿価額を公正価値としております。これらの取引につきましては、レベル２に分類しております。

(ⅵ)銀行業における預金

要求払預金は、報告日に要求された場合の支払額(帳簿価額)を公正価値とみなしております。定期預金は、将来キャッシュ・フローを評価日時点の市場利子率に一定の調整を加えた金利で割り引いた現在価値を公正価値としております。これらの取引につきましては、レベル２に分類しております。

(ⅶ)社債

市場価格のある社債は市場価格によっており、レベル２に分類しております。市場価格のない社債は将来キャッシュ・フローを評価日時点の市場利子率に自社のプレミアムを加味した利率で割り引いた現在価値を公正価値とし、レベル３に分類しております。

(ⅷ)借入金

元利金の将来キャッシュ・フローを見積り、評価日時点の市場利子率に一定の調整を加えた金利で割り引いた現在価値を公正価値としており、レベル２に分類しております。

(4) 公正価値で測定する金融商品

以下の表は、公正価値で測定された報告日時点の金融商品を、公正価値測定を区分する公正価値ヒエラルキーのレベル別に分析したものであります。

	前連結会計年度(2026年３月31日)			
	金額(百万円)			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
有価証券				
負債性証券				
日本国債	－	6,203,295	－	6,203,295
日本地方債	－	170,779	－	170,779
日本社債	－	705,888	86,750	792,639
外国国債	－	1,668,215	－	1,668,215
外国社債	－	514,947	76,891	591,839
証券化商品	－	103,526	120,326	223,853
その他の証券	－	939,218	54,317	993,535
資本性証券				
日本株式	571,678	－	2,613	574,292
外国株式	3,375,732	－	1,416	3,377,149
デリバティブ資産	9,740	221,291	－	231,032
金融資産合計	3,957,152	10,527,163	342,316	14,826,632
デリバティブ負債	3	50,227	－	50,231
金融負債合計	3	50,227	－	50,231

	当中間連結会計期間(2026年９月30日)			
	金額(百万円)			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
有価証券				
負債性証券				
日本国債	－	5,870,371	－	5,870,371
日本地方債	－	225,725	－	225,725
日本社債	－	689,128	80,266	769,395
外国国債	－	1,495,171	－	1,495,171
外国社債	－	521,062	87,436	608,498
証券化商品	－	130,313	111,752	242,066
その他の証券	－	1,313,973	72,501	1,386,475
資本性証券				
日本株式	773,317	－	2,656	775,973
外国株式	3,691,543	－	5,752	3,697,296
デリバティブ資産	10,773	327,526	－	338,299
金融資産合計	4,475,634	10,573,274	360,366	15,409,275
デリバティブ負債	843	65,319	－	66,163
金融負債合計	843	65,319	－	66,163

(5) 公正価値で測定しない金融商品

以下の表は、公正価値で測定しない金融商品の帳簿価額及び公正価値を比較したものであります。なお、その他の金融資産、コールマネー、売現先及びその他の金融負債は償却原価で測定する金融商品に分類しておりますが、これらの金融商品については、主として短期取引であり帳簿価額が公正価値と近似することから、以下の表には含めておりません。

	前連結会計年度 (2026年３月31日)		当中間連結会計期間 (2026年９月30日)	
	金額(百万円)		金額(百万円)	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
有価証券				
負債性証券				
日本国債	―	―	891	891
日本地方債	29,711	27,234	52,632	47,883
日本社債	52,485	45,547	51,318	41,693
外国国債	―	―	―	―
外国社債	―	―	―	―
証券化商品	479,841	479,995	476,110	476,297
その他の証券	26,508	25,532	25,906	24,402
貸出金				
住宅ローン	3,650,595	3,671,469	3,631,082	3,647,641
その他	45,170	44,817	60,353	60,117
金融資産合計	4,284,313	4,294,595	4,298,295	4,298,927
債券貸借取引受入担保金	654,797	654,797	845,971	844,813
銀行業における預金	4,600,113	4,589,708	4,747,355	4,732,315
投資契約負債	58,847	55,590	59,264	55,457
社債	179,748	176,935	288,570	282,376
借入金	657,547	649,529	661,182	653,663
金融負債合計	6,151,053	6,126,560	6,602,343	6,568,626

（保険収益）

保険収益の内訳は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）		
	金額(百万円)		
	生命保険事業	損害保険事業	合計
PAAを適用せずに測定している保険契約			
残存カバーに係る負債の変動			
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	77,826	418	78,245
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	15,792	185	15,978
予想発生保険金及び他の保険サービス費用	88,791	5,026	93,818
その他	－	181	181
保険獲得キャッシュ・フローの回収	60,638	1,794	62,432
PAAを適用せずに測定している保険契約合計	243,049	7,606	250,656
PAAを適用して測定している保険契約	－	79,711	79,711
保険収益合計	243,049	87,318	330,368

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）		
	金額(百万円)		
	生命保険事業	損害保険事業	合計
PAAを適用せずに測定している保険契約			
残存カバーに係る負債の変動			
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	83,443	522	83,966
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	16,369	186	16,556
予想発生保険金及び他の保険サービス費用	94,859	5,858	100,718
その他	－	220	220
保険獲得キャッシュ・フローの回収	67,122	1,997	69,120
PAAを適用せずに測定している保険契約合計	261,795	8,785	270,581
PAAを適用して測定している保険契約	－	89,960	89,960
保険収益合計	261,795	98,746	360,542

(保険業における金融損益)

生命保険子会社及び損害保険子会社の純損益及びその他の包括利益で認識された金融損益の分析は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
純損益に認識した金額		
投資収益(純額)(＊１)		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融商品から生じる金利収益(＊２)	90,177	94,973
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品に係る純利得(＊３)	289,099	625,410
純損益を通じて公正価値で測定しない金融商品に係る為替差損益	△3,512	△30,523
その他	△113,150	△63,666
合計	262,615	626,194
保険金融収益又は費用(純額)		
発生計上した利息	△97,204	△103,429
変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響	△228,563	△617,225
為替差損益	4,117	30,056
その他	7,302	11,185
合計	△314,348	△679,413
再保険金融収益又は費用(純額)		
発生計上した利息	65	8,646
為替差損益	5	△6,406
その他	△1	84
合計	69	2,324
純損益に認識した金額合計	△51,662	△50,895
その他の包括利益に認識した金額		
投資収益	△411,504	△432,784
合計	△411,504	△432,784
保険金融収益又は費用(純額)		
金利及びその他金融リスクの変動による影響	456,136	391,004
合計	456,136	391,004
再保険金融収益又は費用(純額)		
金利及びその他金融リスクの変動による影響	△348	△49,577
合計	△348	△49,577
その他の包括利益に認識した金額合計	44,283	△91,357
金融損益合計	△7,379	△142,252

(＊１)　要約中間連結損益計算書の純利息収益、投資損益、信用減損損失の合計

(＊２)　要約中間連結損益計算書の受取利息に含まれております。

(＊３)　公正価値ヘッジのヘッジ対象として指定した、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融商品におけるヘッジされるリスクに起因する公正価値変動を含みます。

（保険契約及び再保険契約）

(1) 保険契約残高及び再保険契約残高の増減

当社グループの保険契約負債及び再保険契約資産の変動は、以下のとおりであります。

（ｉ）生命保険事業

① 保険契約

(a) 残存カバーに係る負債及び発生保険金に係る負債の変動

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	残存カバーに係る負債		発生保険金に係る負債	合計
	損失要素以外	損失要素		
期首の保険契約資産	△81,537	2	33,819	△47,715
期首の保険契約負債	12,540,087	51,811	78,687	12,670,586
期首残高の純額	12,458,549	51,813	112,507	12,622,870
保険収益				
移行時に修正遡及アプローチを適用した契約	△78,158	－	－	△78,158
移行時に公正価値アプローチを適用した契約	△15,221	－	－	△15,221
新契約及び移行時に完全遡及アプローチを適用した契約	△149,670	－	－	△149,670
合計	△243,049	－	－	△243,049
保険サービス費用				
発生保険金及び他の発生した保険サービス費用	－	△1,715	90,762	89,047
保険獲得キャッシュ・フローの償却	60,638	－	－	60,638
不利な契約に係る損失及び損失の戻入	－	9,300	－	9,300
発生保険金に係る負債の変動	－	－	287	287
合計	60,638	7,584	91,049	159,273
保険サービス損益	△182,411	7,584	91,049	△83,776
保険金融収益又は費用(純額)	△132,679	△318	△205	△133,204
包括利益に認識した金額合計	△315,091	7,266	90,844	△216,981
保険収益及び保険サービス費用から除外した投資要素	△444,430	－	444,430	－
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	884,493	－	－	884,493
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	－	－	△521,900	△521,900
保険獲得キャッシュ・フロー	△75,811	－	－	△75,811
合計	808,681	－	△521,900	286,781
連結財政状態計算書の他の項目への振替	－	－	△13,361	△13,361
その他	△1,155	△64	△71	△1,290
期末の保険契約資産	△86,463	65	35,444	△50,952
期末の保険契約負債	12,593,018	58,950	77,003	12,728,972
期末残高の純額	12,506,555	59,015	112,448	12,678,019

(注)　上記の移行時は、親会社であったソニーグループ株式会社のIFRS第17号「保険契約」（以下「IFRS第17号」）への移行日を指しております。

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	残存カバーに係る負債		発生保険金に係る負債	合計
	損失要素以外	損失要素		
期首の保険契約資産	△78,164	96	32,938	△45,128
期首の保険契約負債	12,397,176	69,991	79,695	12,546,863
期首残高の純額	12,319,012	70,088	112,634	12,501,734
保険収益				
移行時に修正遡及アプローチを適用した契約	△74,051	－	－	△74,051
移行時に公正価値アプローチを適用した契約	△16,525	－	－	△16,525
新契約及び移行時に完全遡及アプローチを適用した契約	△171,218	－	－	△171,218
合計	△261,795	－	－	△261,795
保険サービス費用				
発生保険金及び他の発生した保険サービス費用	－	△2,641	94,573	91,931
保険獲得キャッシュ・フローの償却	67,122	－	－	67,122
不利な契約に係る損失及び損失の戻入	－	20,837	－	20,837
発生保険金に係る負債の変動	－	－	△29	△29
合計	67,122	18,196	94,544	179,863
保険サービス損益	△194,672	18,196	94,544	△81,932
保険金融収益又は費用(純額)	291,644	△595	△1,186	289,862
包括利益に認識した金額合計	96,971	17,600	93,357	207,929
保険収益及び保険サービス費用から除外した投資要素	△577,241	－	577,241	－
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	1,026,443	－	－	1,026,443
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	－	－	△661,656	△661,656
保険獲得キャッシュ・フロー	△80,041	－	－	△80,041
合計	946,401	－	△661,656	284,745
連結財政状態計算書の他の項目への振替	－	－	△14,576	△14,576
その他	△597	△45	△163	△805
期末の保険契約資産	△73,102	89	32,117	△40,895
期末の保険契約負債	12,857,649	87,554	74,718	13,019,922
期末残高の純額	12,784,547	87,643	106,836	12,979,027

(注)　上記の移行時は、親会社であったソニーグループ株式会社のIFRS第17号への移行日を指しております。

(b) 測定要素別の保険契約負債の変動－PAAを適用せずに測定している保険契約

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の保険契約資産	△245,601	24,500	173,385	△47,715
期首の保険契約負債	10,373,652	401,805	1,895,127	12,670,586
期首残高の純額	10,128,051	426,306	2,068,513	12,622,870
現在のサービスに関する変動				
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△77,826	△77,826
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△15,792	－	△15,792
実績調整	255	－	－	255
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	△178,605	21,225	157,379	－
CSMを修正する見積りの変更	15,019	47,576	△62,595	－
CSMを修正しない見積りの変更	6,878	2,421	－	9,300
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る負債の変動	287	－	－	287
保険サービス損益合計	△156,163	55,429	16,957	△83,776
保険金融収益又は費用(純額)	△145,351	△172	12,319	△133,204
包括利益に認識した金額合計	△301,515	55,256	29,277	△216,981
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	884,493	－	－	884,493
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	△521,900	－	－	△521,900
保険獲得キャッシュ・フロー	△75,811	－	－	△75,811
合計	286,781	－	－	286,781
連結財政状態計算書の他の項目への振替	△13,361	－	－	△13,361
その他	△1,192	－	△97	△1,290
期末の保険契約資産	△313,057	35,076	227,027	△50,952
期末の保険契約負債	10,411,820	446,486	1,870,665	12,728,972
期末残高の純額	10,098,763	481,563	2,097,692	12,678,019

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の保険契約資産	△244,939	23,194	176,615	△45,128
期首の保険契約負債	10,258,317	409,199	1,879,346	12,546,863
期首残高の純額	10,013,378	432,394	2,055,961	12,501,734
現在のサービスに関する変動				
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△83,443	△83,443
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△16,369	－	△16,369
実績調整	△2,928	－	－	△2,928
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	△124,629	14,939	112,398	2,708
CSMを修正する見積りの変更	14,573	△1,990	△12,582	－
CSMを修正しない見積りの変更	14,136	3,992	－	18,129
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る負債の変動	△29	－	－	△29
保険サービス損益合計	△98,876	572	16,371	△81,932
保険金融収益又は費用(純額)	279,333	△751	11,280	289,862
包括利益に認識した金額合計	180,456	△179	27,652	207,929
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	1,026,443	－	－	1,026,443
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	△661,656	－	－	△661,656
保険獲得キャッシュ・フロー	△80,041	－	－	△80,041
合計	284,745	－	－	284,745
連結財政状態計算書の他の項目への振替	△14,576	－	－	△14,576
その他	△805	－	－	△805
期末の保険契約資産	△210,258	18,759	150,603	△40,895
期末の保険契約負債	10,673,455	413,455	1,933,010	13,019,922
期末残高の純額	10,463,197	432,214	2,083,614	12,979,027

② 再保険契約

(a) 残存カバーに係る資産及び発生保険金に係る資産の変動

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	残存カバーに係る資産		発生保険金に係る資産	合計
	損失回収要素以外	損失回収要素		
期首の再保険契約資産	24,306	904	3,866	29,077
期首の再保険契約負債	－	－	－	－
期首残高の純額	24,306	904	3,866	29,077
支払った再保険料の配分	△1,343	－	－	△1,343
再保険者から回収した金額				
発生保険金及び他の保険サービス費用の回収	－	△85	506	420
基礎となる不利な保険契約の損失の回収及び戻入	－	434	－	434
発生保険金に係る資産の変動	－	－	－	－
合計	－	348	506	854
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－
再保険損益	△1,343	348	506	△488
再保険金融収益又は費用(純額)	△281	－	－	△281
包括利益に認識した金額合計	△1,625	348	506	△770
投資要素	△2,721	－	2,721	－
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	3,619	－	－	3,619
再保険回収額	－	－	△4,651	△4,651
合計	3,619	－	△4,651	△1,032
その他	－	－	－	－
期末の再保険契約資産	23,739	1,252	2,443	27,434
期末の再保険契約負債	△160	－	－	△160
期末残高の純額	23,578	1,252	2,443	27,274

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	残存カバーに係る資産		発生保険金に係る資産	合計
	損失回収要素以外	損失回収要素		
期首の再保険契約資産	259,803	△295	13,649	273,157
期首の再保険契約負債	△126	－	－	△126
期首残高の純額	259,676	△295	13,649	273,031
支払った再保険料の配分	△2,059	－	－	△2,059
再保険者から回収した金額				
発生保険金及び他の保険サービス費用の回収	－	△524	1,091	567
基礎となる不利な保険契約の損失の回収及び戻入	－	6,777	－	6,777
発生保険金に係る資産の変動	－	－	－	－
合計	－	6,252	1,091	7,344
再保険者の不履行リスクの変動の影響	1,140	－	－	1,140
再保険損益	△918	6,252	1,091	6,425
再保険金融収益又は費用(純額)	△47,214	△3	－	△47,218
包括利益に認識した金額合計	△48,133	6,248	1,091	△40,792
投資要素	△34,329	－	34,329	－
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	271,642	－	－	271,642
再保険回収額	－	－	△34,212	△34,212
合計	271,642	－	△34,212	237,430
その他	△17	－	－	△17
期末の再保険契約資産	448,937	5,953	14,858	469,749
期末の再保険契約負債	△97	－	－	△97
期末残高の純額	448,839	5,953	14,858	469,651

(b) 測定要素別の再保険契約資産の変動－PAAを適用せずに測定している再保険契約

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の再保険契約資産	28,817	△74	333	29,077
期首の再保険契約負債	－	－	－	－
期首残高の純額	28,817	△74	333	29,077
現在のサービスに関する変動				
提供されたサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	66	66
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	21	－	21
実績調整	△1,010	－	－	△1,010
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	△43	△1	45	－
CSMを修正する基礎となる不利な保険契約に係る損失の回収額の変動	－	－	434	434
CSMを修正する見積りの変更	750	△25	△725	－
基礎となる不利な保険契約に係る損失及び損失の戻入に関する見積りの変更	－	－	－	－
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る資産の変動	－	－	－	－
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－
再保険損益	△304	△4	△180	△488
再保険金融収益又は費用(純額)	△282	△0	0	△281
包括利益に認識した金額合計	△586	△4	△179	△770
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	3,619	－	－	3,619
再保険回収額	△4,651	－	－	△4,651
合計	△1,032	－	－	△1,032
その他	－	－	－	－
期末の再保険契約資産	27,161	△22	295	27,434
期末の再保険契約負債	36	△55	△141	△160
期末残高の純額	27,198	△78	154	27,274

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の再保険契約資産	268,666	9,186	△4,694	273,157
期首の再保険契約負債	57	△41	△142	△126
期首残高の純額	268,724	9,144	△4,837	273,031
現在のサービスに関する変動				
提供されたサービスについて純損益に認識したCSM	―	―	206	206
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	―	△235	―	△235
実績調整	△1,462	―	―	△1,462
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	10,817	△941	△9,875	―
CSMを修正する基礎となる不利な保険契約に係る損失の回収額の変動	―	―	6,777	6,777
CSMを修正する見積りの変更	1,561	610	△2,171	―
基礎となる不利な保険契約に係る損失及び損失の戻入に関する見積りの変更	―	―	―	―
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る資産の変動	―	―	―	―
再保険者の不履行リスクの変動の影響	1,140	―	―	1,140
再保険損益	12,056	△567	△5,063	6,425
再保険金融収益又は費用(純額)	△47,418	△121	321	△47,218
包括利益に認識した金額合計	△35,362	△688	△4,742	△40,792
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	271,642	―	―	271,642
再保険回収額	△34,212	―	―	△34,212
合計	237,430	―	―	237,430
その他	△223	△358	564	△17
期末の再保険契約資産	470,499	8,131	△8,881	469,749
期末の再保険契約負債	70	△33	△133	△97
期末残高の純額	470,569	8,097	△9,015	469,651

(ⅱ)損害保険事業

① 保険契約

(a) 残存カバーに係る負債及び発生保険金に係る負債の変動

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）					
	金額(百万円)					
	残存カバーに係る負債		発生保険金に係る負債			合計
			発生保険金に係る負債	PAAを適用して測定している保険契約		
	損失要素以外	損失要素		将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	
期首の保険契約資産	―	―	―	―	―	―
期首の保険契約負債	124,609	12,770	1,746	59,272	441	198,839
期首残高の純額	124,609	12,770	1,746	59,272	441	198,839
保険収益						
移行時に修正遡及アプローチを適用した契約	△3,781	―	―	―	―	△3,781
移行時に公正価値アプローチを適用した契約	―	―	―	―	―	―
新契約及び移行時に完全遡及アプローチを適用した契約	△83,536	―	―	―	―	△83,536
合計	△87,318	―	―	―	―	△87,318
保険サービス費用						
発生保険金及び他の発生した保険サービス費用	―	△1,500	5,313	62,832	156	66,802
保険獲得キャッシュ・フローの償却	9,779	―	―	―	―	9,779
不利な契約に係る損失及び損失の戻入	―	1,471	―	―	―	1,471
発生保険金に係る負債の変動	―	―	32	1,154	△147	1,039
合計	9,779	△28	5,346	63,987	8	79,093
保険サービス損益	△77,539	△28	5,346	63,987	8	△8,225
保険金融収益又は費用(純額)	△8,690	18	―	87	0	△8,583
包括利益に認識した金額合計	△86,229	△9	5,346	64,074	9	△16,809
保険収益及び保険サービス費用から除外した投資要素	―	―	―	―	―	―
当期のキャッシュ・フロー						
受取保険料	91,623	―	―	―	―	91,623
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	―	―	△5,308	△62,832	―	△68,141
保険獲得キャッシュ・フロー	△9,318	―	―	―	―	△9,318
合計	82,304	―	△5,308	△62,832	―	14,163
連結財政状態計算書の他の項目への振替	―	―	―	―	―	―
その他	200	―	553	△563	―	190
期末の保険契約資産	―	―	―	―	―	―
期末の保険契約負債	120,885	12,761	2,336	59,950	450	196,384
期末残高の純額	120,885	12,761	2,336	59,950	450	196,384

(注)　上記の移行時は、親会社であったソニーグループ株式会社のIFRS第17号への移行日を指しております。

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）					
	金額(百万円)					
	残存カバーに係る負債		発生保険金に係る負債			合計
			発生保険金に係る負債	PAAを適用して測定している保険契約		
	損失要素以外	損失要素		将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	
期首の保険契約資産	―	―	―	―	―	―
期首の保険契約負債	126,851	11,324	2,547	61,889	248	202,861
期首残高の純額	126,851	11,324	2,547	61,889	248	202,861
保険収益						
移行時に修正遡及アプローチを適用した契約	△3,660	―	―	―	―	△3,660
移行時に公正価値アプローチを適用した契約	―	―	―	―	―	―
新契約及び移行時に完全遡及アプローチを適用した契約	△95,085	―	―	―	―	△95,085
合計	△98,746	―	―	―	―	△98,746
保険サービス費用						
発生保険金及び他の発生した保険サービス費用	―	△1,503	5,996	68,695	89	73,277
保険獲得キャッシュ・フローの償却	10,357	―	―	―	―	10,357
不利な契約に係る損失及び損失の戻入	―	743	―	―	―	743
発生保険金に係る負債の変動	―	―	442	5,000	△69	5,373
合計	10,357	△760	6,439	73,695	19	89,752
保険サービス損益	△88,389	△760	6,439	73,695	19	△8,994
保険金融収益又は費用(純額)	△578	29	―	△900	△3	△1,453
包括利益に認識した金額合計	△88,967	△730	6,439	72,794	16	△10,447
保険収益及び保険サービス費用から除外した投資要素	―	―	―	―	―	―
当期のキャッシュ・フロー						
受取保険料	102,729	―	―	―	―	102,729
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	―	―	△5,990	△68,695	―	△74,685
保険獲得キャッシュ・フロー	△9,039	―	―	―	―	△9,039
合計	93,689	―	△5,990	△68,695	―	19,004
連結財政状態計算書の他の項目への振替	―	―	―	―	―	―
その他	129	―	―	△910	―	△780
期末の保険契約資産	―	―	―	―	―	―
期末の保険契約負債	131,703	10,594	2,996	65,078	264	210,636
期末残高の純額	131,703	10,594	2,996	65,078	264	210,636

(注)　上記の移行時は、親会社であったソニーグループ株式会社のIFRS第17号への移行日を指しております。

(b) 測定要素別の保険契約負債の変動－PAAを適用せずに測定している保険契約

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の保険契約資産	－	－	－	－
期首の保険契約負債	41,274	15,767	16,464	73,506
期首残高の純額	41,274	15,767	16,464	73,506
現在のサービスに関する変動				
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△418	△418
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△371	－	△371
実績調整	△1,209	－	－	△1,209
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	905	311	255	1,473
CSMを修正する見積りの変更	△35	△7	43	－
CSMを修正しない見積りの変更	△6	4	－	△1
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る負債の変動	36	△4	－	32
保険サービス損益	△308	△66	△120	△495
保険金融収益又は費用(純額)	△7,615	△1,200	144	△8,671
包括利益に認識した金額合計	△7,924	△1,267	24	△9,166
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	9,402	－	－	9,402
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	△5,308	－	－	△5,308
保険獲得キャッシュ・フロー	△1,595	－	－	△1,595
合計	2,497	－	－	2,497
連結財政状態計算書の他の項目への振替	－	－	－	－
その他	562	－	－	562
期末の保険契約資産	－	－	－	－
期末の保険契約負債	36,410	14,500	16,489	67,400
期末残高の純額	36,410	14,500	16,489	67,400

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の保険契約資産	－	－	－	－
期首の保険契約負債	33,970	11,770	20,277	66,017
期首残高の純額	33,970	11,770	20,277	66,017
現在のサービスに関する変動				
提供したサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△522	△522
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△372	－	△372
実績調整	△1,400	－	－	△1,400
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	581	254	10	846
CSMを修正する見積りの変更	△3	4	△0	－
CSMを修正しない見積りの変更	△98	△3	－	△102
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る負債の変動	444	△2	－	442
保険サービス損益	△476	△119	△513	△1,109
保険金融収益又は費用(純額)	△311	△430	192	△549
包括利益に認識した金額合計	△788	△549	△320	△1,658
当期のキャッシュ・フロー				
受取保険料	10,778	－	－	10,778
支払った保険金及び他の保険サービス費用(投資要素を含む)	△5,990	－	－	△5,990
保険獲得キャッシュ・フロー	△1,189	－	－	△1,189
合計	3,598	－	－	3,598
連結財政状態計算書の他の項目への振替	－	－	－	－
その他	12	－	－	12
期末の保険契約資産	－	－	－	－
期末の保険契約負債	36,792	11,220	19,956	67,970
期末残高の純額	36,792	11,220	19,956	67,970

② 再保険契約

(a) 残存カバーに係る資産及び発生保険金に係る資産の変動

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）					
	金額(百万円)					
	残存カバーに係る資産		発生保険金に係る資産			合計
			発生保険金に係る資産	PAAを適用して測定している再保険契約		
	損失回収要素以外	損失回収要素		将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	
期首の再保険契約資産	644	274	14	936	5	1,875
期首の再保険契約負債	－	－	－	－	－	－
期首残高の純額	644	274	14	936	5	1,875
支払った再保険料の配分	△1,110	－	－	－	－	△1,110
再保険者から回収した金額						
発生保険金及び他の保険サービス費用の回収	－	△34	11	458	3	438
基礎となる不利な保険契約の損失の回収及び戻入	－	△2	－	－	－	△2
発生保険金に係る資産の変動	－	－	△0	△360	△6	△367
合計	－	△37	11	97	△2	69
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－	－	－
再保険損益	△1,110	△37	11	97	△2	△1,040
再保険金融収益又は費用(純額)	△2	2	－	2	0	2
包括利益に認識した金額合計	△1,112	△35	11	100	△2	△1,037
投資要素	－	－	－	－	－	－
当期のキャッシュ・フロー						
支払再保険料	1,065	－	－	－	－	1,065
再保険回収額	－	－	△11	△458	－	△470
合計	1,065	－	△11	△458	－	594
その他	33	－	△1	458	－	491
期末の再保険契約資産	631	239	12	1,037	2	1,923
期末の再保険契約負債	－	－	－	－	－	－
期末残高の純額	631	239	12	1,037	2	1,923

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）					
	金額(百万円)					
	残存カバーに係る資産		発生保険金に係る資産			合計
			発生保険金に係る資産	PAAを適用して測定している再保険契約		
	損失回収要素以外	損失回収要素		将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	
期首の再保険契約資産	590	255	18	870	0	1,734
期首の再保険契約負債	－	－	－	－	－	－
期首残高の純額	590	255	18	870	0	1,734
支払った再保険料の配分	△1,269	－	－	－	－	△1,269
再保険者から回収した金額						
発生保険金及び他の保険サービス費用の回収	－	△26	73	97	0	144
基礎となる不利な保険契約の損失の回収及び戻入	－	△0	－	－	－	△0
発生保険金に係る資産の変動	－	－	33	460	1	495
合計	－	△27	106	557	1	639
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－	－	－
再保険損益	△1,269	△27	106	557	1	△629
再保険金融収益又は費用(純額)	△0	2	－	△36	△0	△34
包括利益に認識した金額合計	△1,270	△24	106	521	1	△664
投資要素	－	－	－	－	－	－
当期のキャッシュ・フロー						
支払再保険料	1,206	－	－	－	－	1,206
再保険回収額	－	－	△73	△97	－	△170
合計	1,206	－	△73	△97	－	1,036
その他	61	－	63	△568	－	△444
期末の再保険契約資産	587	230	114	725	2	1,661
期末の再保険契約負債	－	－	－	－	－	－
期末残高の純額	587	230	114	725	2	1,661

(b) 測定要素別の再保険契約資産の変動－PAAを適用せずに測定している再保険契約

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の再保険契約資産	454	14	396	866
期首の再保険契約負債	－	－	－	－
期首残高の純額	454	14	396	866
現在のサービスに関する変動				
提供されたサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△35	△35
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△5	－	△5
実績調整	△169	－	－	△169
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	△12	2	9	－
CSMを修正する基礎となる不利な保険契約に係る損失の回収額の変動	－	－	－	－
CSMを修正する見積りの変更	34	2	△37	－
基礎となる不利な保険契約に係る損失及び損失の戻入に関する見積りの変更	△2	－	－	△2
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る資産の変動	△0	△0	－	△0
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－
再保険損益	△150	0	△63	△213
再保険金融収益又は費用(純額)	△3	△0	3	0
包括利益に認識した金額合計	△153	△0	△60	△213
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	142	－	－	142
再保険回収額	△11	－	－	△11
合計	131	－	－	131
その他	3	－	－	3
期末の再保険契約資産	436	14	336	787
期末の再保険契約負債	－	－	－	－
期末残高の純額	436	14	336	787

	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）			
	金額(百万円)			
	将来キャッシュ・フローの現在価値の見積り	非金融リスクに係るリスク調整	CSM	合計
期首の再保険契約資産	443	17	319	780
期首の再保険契約負債	－	－	－	－
期首残高の純額	443	17	319	780
現在のサービスに関する変動				
提供されたサービスについて純損益に認識したCSM	－	－	△26	△26
非金融リスクに係るリスク調整のリスクの解放による変動	－	△6	－	△6
実績調整	△146	－	－	△146
将来のサービスに関する変動				
当期に当初認識した契約の影響	△24	2	21	－
CSMを修正する基礎となる不利な保険契約に係る損失の回収額の変動	－	－	－	－
CSMを修正する見積りの変更	7	1	△9	－
基礎となる不利な保険契約に係る損失及び損失の戻入に関する見積りの変更	△0	－	－	△0
過去のサービスに関する変動				
発生保険金に係る資産の変動	32	0	－	33
再保険者の不履行リスクの変動の影響	－	－	－	－
再保険損益	△130	△2	△14	△147
再保険金融収益又は費用(純額)	△2	0	3	1
包括利益に認識した金額合計	△132	△2	△10	△145
当期のキャッシュ・フロー				
支払再保険料	164	－	－	164
再保険回収額	△73	－	－	△73
合計	91	－	－	91
その他	74	－	－	74
期末の再保険契約資産	475	15	308	800
期末の再保険契約負債	－	－	－	－
期末残高の純額	475	15	308	800

(2) 重要な判断及び見積り

割引率

全てのキャッシュ・フローは、当該キャッシュ・フロー特性と保険契約の流動性特性を反映するように調整したリスクフリーのイールド・カーブを用いて割り引いております。当社グループは、国債利回りを用いてリスクフリーのイールド・カーブを算定しております。当該イールド・カーブは、長期の実質金利とインフレ予想を反映して算定しておりますが、市場データのない期間の補外については、終局金利を用いて算定しております。具体的には、終局金利を3.5%、補外開始年度を40年目(米ドルの場合は30年目)とし、41年目(米ドルの場合は31年目)以降のフォワード・レートは、30年間で終局金利の水準に収束するように Smith-Wilson 法により補外しております。保険契約の流動性特性を反映するために、リスクフリーのイールド・カーブは非流動性プレミアムによって調整しております。非流動性プレミアムは当社グループの資産から参照ポートフォリオを設定し算定しております。

以下の表は、主要通貨別の保険契約のキャッシュ・フローを割り引く際に用いたイールド・カーブ(スポット・レート換算)を示したものであります。

年限	前連結会計年度 (2026年３月31日)		当中間連結会計期間 (2026年９月30日)	
	イールド・カーブ(%)		イールド・カーブ(%)	
	JPY	USD	JPY	USD
１年	1.12	3.74	1.70	4.61
５年	1.83	4.03	2.44	5.18
10年	2.44	4.46	3.17	5.41
20年	3.57	5.26	4.20	5.95
30年	4.06	5.11	4.45	5.75
40年	4.13	4.64	4.39	5.24

将来キャッシュ・フローの現在価値を確率論的なモデル化によって見積っている場合には、そのキャッシュ・フローは、概ね非流動性について調整したリスクフリー金利となるように調整したシナリオ特有の金利で割り引いております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の仮定、決定並びに判断に基づいております。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。